

各 位

平成 28 年 5 月 16 日
碧 海 信 用 金 庫**新店舗「御園支店」の建設について**

碧海信用金庫（理事長：石川 澄夫）は、当金庫所有地（名古屋市中区）に御園支店の建設に向けて検討を進めておりますが、この度、基本設計がまとまりましたので、その概要についてお知らせいたします。

御園支店は、「和の大家」と称され新国立競技場を設計した建築家である東京大学 教授 隈 研吾（くま けんご）氏が主宰する株式会社隈研吾建築都市設計事務所に意匠設計・監修を依頼しました。伝統と現代が融合した独創的な外観で、現在想定される大規模災害に備えた高度な安全性を確保するとともに、環境の保全にも十分に配慮しています。

竣工時には、新店舗「御園支店」のほか、パーソナルプラザの新設、および一部本部機能を設けます。また、全自動貸金庫（約 600 函）も設置いたします。新たな戦略拠点として、これまで以上にお客様満足度の高い金融サービスを提供してまいります。

記

1. 建物概要

- ・所在地 名古屋市中区栄一丁目 1110 番
- ・敷地面積 730.94 m² (221.10 坪)
- ・建物面積 620.97 m²
- ・延床面積 4,140.02 m²
- ・構造 鉄骨造 7 階建
- ・用途 御園支店、パーソナルプラザ、本部機能
- ・駐車場 15 台

2. 工事期間 着 工：平成 28 年 5 月 16 日 竣工予定：平成 29 年 6 月 25 日
開設予定：平成 29 年 7 月

3. 意匠設計・監修

株式会社隈研吾建築都市設計事務所

4. 建築設計施工業者

積水ハウス株式会社

5. その他

隈 研吾氏の建築コンセプトにつきましては別添資料「碧海信用金庫 御園支店 デザインコンセプト」をご参照ください。

以 上

碧海信用金庫 御園支店 デザインコンセプト

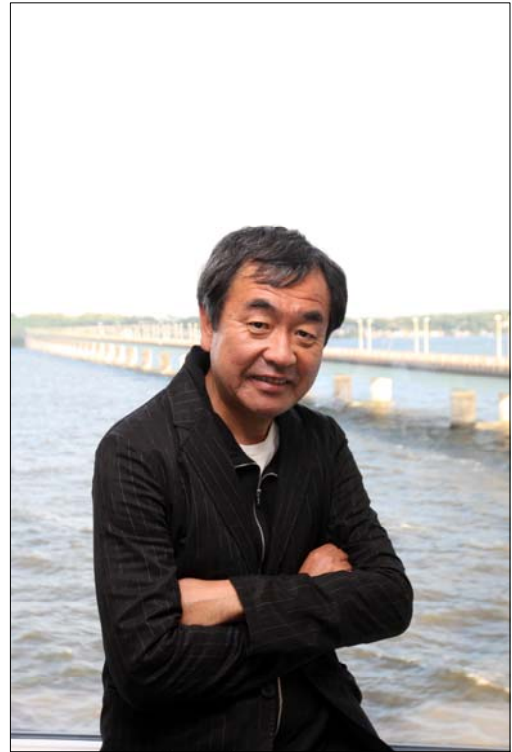
隈研吾

地域に密着した信用金庫にふさわしい、街と建築、人と人とのつながりの場を創造することを目指した。

立体的な庭「グリーンヴォイド」を媒介として、建築は街とつながり、建物の各スペースがひとつにつながる。この木と緑の吹き抜け空間が、地域と碧海信用金庫をつなぐ象徴となる。

グリーンヴォイドと建築は、軽やかな木組みスクリーンでやわらかく包まれ、街に木のぬくもりを与え、芝居街にふさわしい和の華やかな街並みを形成する。新しく再生する名古屋のシンボル御園座とも、木のスクリーンは響き合い、新しい名古屋の文化的中心となるだろう。インテリアにも木や和紙を使用することで、お客様にも働く人々にも、やさしい空間が提供されることになる。

街に開かれた「グリーンヴォイド」を通じて、地域とともに成長していく、有機的な建築を目指した。



The Courier

A handwritten signature in black ink, which appears to be the name '隈研吾' (Kazuyo Sejima).

[プロフィール]

建築家・東京大学教授。近作に、サントリー美術館（2007）、根津美術館（2009）、浅草文化観光センター（2012）、長岡市役所（2012）、ブザンソン芸術文化センター（2012）、FRACマルセイユ（2013）、歌舞伎座（第五期・2013）、中央郵便局KITTE（2013）、豊島区庁舎（2015）、富山キラリ・富山市立ガラス美術館・図書館（2015）、リヨン・コンフレアンスHIKARI（2015）、中国美术学院杭州民芸博物館（2015）があり、現在、国内外で多数のプロジェクトが進行中。

著書は、『自然な建築』（岩波新書 2008）、『小さな建築』（岩波書店 2013）、『日本人はどう住まうべきか？』（養老孟司氏との共著 日経BP社 2012）、『建築家、走る』（新潮社 2013、新潮文庫 2015）、『僕の場所』（大和書房）等があり、多くが海外で翻訳出版されている。



新都市開発株式会社